

「地図豆」の地図を広げて街歩き

92-1 アサヒビール工場見学と周辺散策 (6.0km) (未完)



アサヒの宿敵麒麟ですが、麒麟の文字が隠れています。

これをデザインしたのは、六角紫水(1867-1950)という漆工芸家である。

広島出身。明治26年(1893)東京美術学校漆工科卒業。同時に教授に就任。明治29年(1896-1898)古社寺保存計画調査官。明治37年(1904)岡倉天心らと渡米、ボストン美術博物館東洋部に勤務し、のちメトロポリタン博物館勤務。明治41年(1908)帰国し、大正5年(1916)東京美術学校教授。岡倉天心・横山大観・下村観山らと日本美術院を創立。大正14年(1925)パリ万国博覧会に出品し名誉大賞を受賞。帝国工芸協会理事。昭和16年(1941)芸術院会員。



ラベルの『麒麟』のたてがみの図柄をよく見ると見つかるのが『キ・リ・ン』の小さな文字。この隠し文字は、遅くとも1933年(昭和8年)には入れられていた。当時のデザイナーが遊び心でデザインしたとも、偽造防止のためとも言われている。地図の中にも遊びがあると聞いたことがあり、それは湿地(記号)の中だとか? でも未だ発見できていません。

【道順】

つくばエクスプレス守谷駅→麒麟ビールのバスで茨城工場へ→工場見学、展望ラウンジで試飲→四季の里公園→守谷駅

工場見学後、「四季の里公園」を訪れたのちは、ただふらふらと守谷を散策する。



